

「今、何の病気が流行しているか！」

(川崎市感染症発生動向調査事業—令和4年第52週)の情報提供について

市内の定点医療機関から提供された感染症の患者発生情報をもとに市民提供情報である「今、何の病気が流行しているか！（令和4年第52週）」を作成しましたのでお知らせします。

令和4年第52週（令和4年12月26日から令和5年1月1日まで）

第52週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1）感染性胃腸炎 2）インフルエンザ 3）A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は6.42人と前週（8.78人）から減少し、例年並みのレベルで推移しています。

インフルエンザの定点当たり患者報告数は4.65人と前週（4.23人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.67人と前週（0.32人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。

今週のトピックス

“海外から帰国後は体調不良に御注意を！”について取り上げました。

我が国では、令和4年10月からの水際対策の緩和に伴い、年末年始にかけて海外旅行をされる方が大幅に増加しています。一方で、海外旅行者が、帰国後に何らかの体調不良を訴えるケースは比較的多いとされており、特に発熱や発しん、下痢等の症状がよくみられます。中には思わぬ感染症が潜んでいる可能性もありますので、医療機関を受診する際は、症状に加えて旅行先、旅行期間、旅行中の行動歴等を、必ず医師に伝えましょう。

川崎市感染症発生動向調査事業では、感染症のまん延の防止と市民の健康の保持に寄与するべく、市内の定点医療機関（小児科定点37施設、インフルエンザ定点61施設、眼科定点9施設、基幹定点2施設）等から報告された感染症発生状況をもとに集計を行い、市内の感染症の発生状況の正確な把握と分析、市民や医療関係者への情報の提供を行っています。

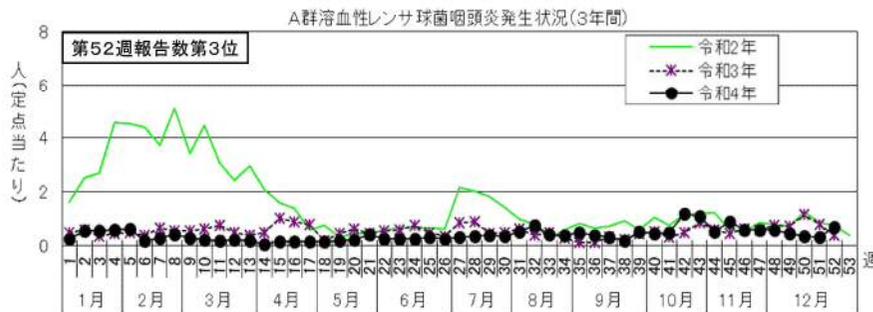
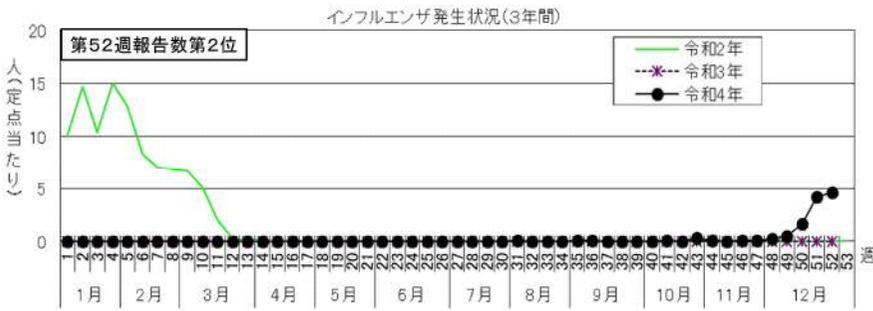
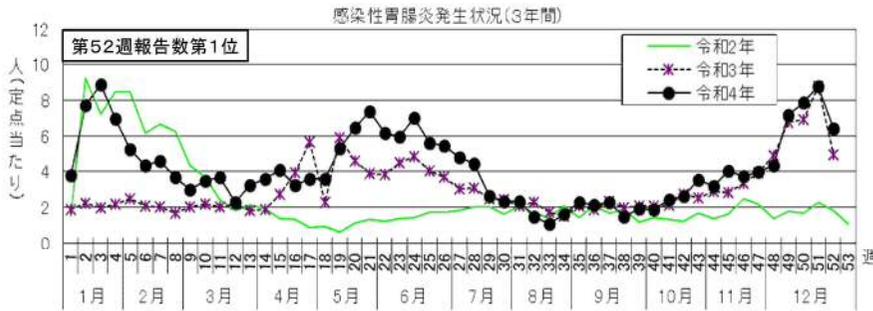
連絡先 川崎市健康福祉局保健医療政策部感染症対策担当 野木
電話044（200）2446
川崎市健康安全研究所 三崎
電話044（276）8250

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和4年12月26日（月）～令和5年1月1日（日）〔令和4年第52週〕の感染症発生状況

第52週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) インフルエンザ 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は6.42人と前週（8.78人）から減少し、例年並みのレベルで推移しています。
 インフルエンザの定点当たり患者報告数は4.65人と前週（4.23人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.67人と前週（0.32人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。



海外から帰国後は体調不良に御注意を！

我が国では、令和4年10月からの水際対策の緩和に伴い、年末年始にかけて海外旅行をされる方が大幅に増加しています。一方で、海外旅行者が、帰国後に何らかの体調不良を訴えるケースは比較的多いとされており、特に発熱や発しん、下痢等の症状がよくみられます。中には思わぬ感染症が潜んでいる可能性もありますので、医療機関を受診する際は、症状に加えて旅行先、旅行期間、旅行中の行動歴等を、必ず医師に伝えましょう。

発熱

海外から帰国後、発熱することは多く、特に発展途上国から帰国した人の2～3%に発熱がみられるといわれています。

【発熱をきたす感染症】
 デング熱、マラリア、腸チフス等



発しん

ウイルスや細菌、寄生虫等が原因で発しんが出現することがあります。疾患によっては、発熱やかゆみを伴う場合もあります。

【発しんをきたす感染症】
 麻疹、風しん、デング熱等



止まらない下痢

海外旅行に行った人の半数以上が旅行先で下痢を起こします。通常は数日でおさまりますが、帰国後も症状が続く場合もあります。

【下痢をきたす感染症】
 細菌性赤痢、コレラ等



医療機関受診前のチェックリスト(旅行中の行動歴等)

- 生の水を飲んだ
- 氷入りの飲み物を飲んだ
- 生の野菜や果物を食べた
- 屋台の食品を食べた
- 湖や川の中に入った(泳いだ)
- 蚊に刺された
- ダニに咬まれた
- 動物に咬まれた
- 周囲に体調の悪い人がいた
- 現地で治療を受けた



厚生労働省検疫所（FORTH）ホームページ 「病院にかかる前のチェックシート」から抜粋